

令和 6 年 4 月 25 日 議会のあり方調査研究特別委員会 議事録
10時00分 開会

○出席委員 (8 人)

委員長 寺岡 公章

副委員長 末広 天佑

委員 豊川 和也、山代 英資、岡 和明、小出 哲義、小田上尚典、
細川 雅子

議長 北地 範久

○欠席委員 なし

○傍聴者 中川 智之

○寺岡委員長 皆さん、おはようございます。ただいまより議会のあり方調査研究特別委員会を開きます。

まず、今日の会議は、予定していた各テーマの期限の日となっておりますので、最後、取りまとめと今後の活動になると思います。

それぞれについて、山代チーフ、末広チーフから資料を準備していただいております。それらを基にしながら、一定の結論が今日出ればいいかなと思います。

では早速、日程 1 議会情報の送受信について、山代チーフお願いします。

○山代委員 おはようございます。ここからは私が進行させていただきます。

前回、4月11日の委員会で、議会中継についてと、議会だよりの活用の提案とパネルの作成について、それぞれ2班より内容の報告をいただきました。

前回の会議で、議会中継中の議場が映っているというだけの休憩時間の画面が長時間にわたることがあり、面白くないので、大竹市の観光案内もしくはイベント案内等ができないかというお問合せが、市民の声があったという御指摘をいただいております。事務局を通じて確認しましたが、技術的には可能だが、金額が発生するという回答だったので、こちらは一旦保留という形にさせていただければと思います。

では、本題に入ります。議会中継についてです。

放送中のシートは、アイコンの案に決定しました。これは、委員会の意思とさせていただいております。それぞれ提出しております依頼文、放送中シート、本会議中継の流れは、最初の1回のみ各部署に通知で可能だと思いますが、議会開催通知放送のお願い、こちらは議会ごとの案内が必須となると思います。依頼文は議長に確認、それ以外は事務局経由で依頼をしていくということになっておりました。

こちらまでで特に認識の問題はないと思いますけれども、今後の流れについて、事務局側から説明等がありましたら、よろしくお願いいたします。

では、その流れに沿って進めていただけるということでよろしいでしょうか。

では、特に宿題というものはございませんでしたので、議会中継については以上とさせていただきます。

では続きまして、議会だよりの活用の提案とパネルの作成についてです。議会だよりの活用の提案については、表紙もしくは紙面の最初のほうに、定例会の主な流れを掲載いただけないかということが1点目。

議会の大枠については、当初予定しておりました8回のシリーズとして、予算決算の時期を外し、紙面が割きやすいときに掲載をさせていただくということが2点目。

マメ知識に関しては、外帯の部分を活用させていただくこと。こちらが3点目。加えてマメ知識は、8つのカテゴライズをして、63項目を選出させていただいておりましたが、議会だより活用班以外の方に追加いただいたものを、提案として広報広聴特別委員会にお伺いさせていただくということにしておりました。

表紙もしくは紙面の最初のほうに定例会の流れを記載いただくのと、紙面を割いていただくことは承認をいただけてから作成、または、マメ知識に関しては選出したものに関して、活用班以外の方に追加をいただいて作成をするということでしたが、サイドブックに修正案として原稿を掲載しておりますので、御確認ください。

ただし、マメ知識ですけれども、前回、小田上委員から御指摘いただいた、かみ砕いた表現という部分が、ちょっとできていないところもございます。重複した部分を省いて全部で58項目になっておりますが、承認いただければ、広報広聴特別委員会に御活用くださいという形で、提出させていただこうと思います。

また、サイドブックに掲載しているマメ知識ネタ文言統一と、第1回から第4回の定例会の流れ、部材1という情報に加え、前回に提示させていただいた議会だより活用班参考④を、資料として、広報広聴特別委員会に御提供させていただこうと考えております。

ここまでで、前回、寺岡委員長から、議会だよりの活用についてのお願いとして、広報広聴特別委員長へ打診していただいたと思います。

寺岡委員長。

○寺岡委員長 前回の会議が終わって、広報広聴特別委員長にお伺いさせていただきました。その返事が来ております。中身については御確認もいただきたいんですが、これまでこのテーマについて運営をしてくださっている山代チーフから確認しながら御紹介をいただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○山代委員 では、いただいた内容に沿って御説明をさせていただこうと思います。

まず1番目として、表紙に議案審査の流れを掲載する件についてです。

広報広聴特別委員会で協議していただきまして、毎号掲載するという事で承認いただいております。場所としては、裏面の8分の1程度の枠を使ってくださいということです。

また、記事は議会のあり方調査研究特別委員会で作成してくださいということなので、サイドブックに掲載している案で承認をいただければと考えております。

また2つ目、大枠として、本会議・委員会の流れを本文の中に記載させていただくところなんですけれども、市議会だよりの裏表紙にある、スマイルインタビューの枠を使うということで打診をいただいております。スマイルインタビューと委員会の流れを交互に掲載するという事で、打診をいただいております。ただし、こちらも記事は議会のあり方調査研究特別委員会で作成してくださいということになっております。

また、マメ知識の件ですけれども、こちらは議会だよりの紙面の配列に合わせて、縦帯で掲載をします。掲載スペースが毎号異なるため、あらかじめ記事の作成・分類分けは、議会のあり方調査研究特別委員会をお願いしたいということです。

また、縦帯箇所以外で編集枠が空いた場合には別途掲載をさせていただきたいという旨と、内容自体は議会のあり方調査研究特別委員会で作成してくださいという御依頼をいただいております。

また、小学校高学年で分かる表現ではどうかというところに関してなんですが、ちょっと語弊があったのでここは説明をさせていただきたいというのがありまして、あくまでも分かりやすいという形で、対象年齢が小学校高学年ということではございませんので、そこは御承知おきください。

ただし、広報広聴特別委員会で、ですます調と、Xで使用しているわしこ伊ちゃんの人格を採用した、どちらかのパターンにしたいという希望がございました。

広報広聴特別委員会で諮ったところ、意見が2つに割れて、結局決定には至っておりませんという回答をいただいております。ですから、表記の方法についても、議会のあり方調査研究特別委員会で協議させていただきたいという旨の報告をいただいております、という内容になっております。

サイドブックス上に、参考資料を載せておりますが、まず、議案審査の流れを確認いただければと思います。大まかなこの流れで問題がなければ、こちらを原稿として広報広聴特別委員会にお渡しをさせていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

細川委員。

○細川委員 この定例会の主な流れの骨格をつくったのは細川なんで、ちょっと説明させてください。

事務局にも見ていただきながら、例えば委員会のところは、補足説明がないことが多いんですけど、一応補足説明はありますかっていうのを、原則委員長が聞いているので、最初に補足説明を入れました。

例なんですけど、委員会で陳情・請願の審査をするときがあるんですよね。あるときとないときとあるので、これはあった委員会のときにはこの採決の後ろかどこかに陳情審査を入れたほうがいいかどうかというのは、悩んでるところですね。

あともう一つが、臨時議会は市議会だよりの中で、そこまでスペースを割いてやることがないので、1つの市議会だよりの中に、定例会と臨時議会の2つを入れるのはどうかなと思ったので、臨時議会の分は作りませんでした。それでいいかどうか。

あと、ちょっと気になるところが、第3回定例会の部分なんですけど、今の決算の審査、認定のやり方だと、9月議会の最終日に決算議案を付託して、閉会後の決算特別委員会で次の本会議へと、長々となるので、そこをどう表現したらいいかっていうのをちょっと悩みまして、資料のようになりました。

以上の3つぐらいが、自分としては気になる場所なんですけれども、もし御意見いただけるようならありがたいです。

○山代委員 ただいま細川委員からありました3点について、何か御意見があればよろしく

お願いいたします。

小田上委員。

○小田上委員 まず1点目の、委員会の流れの陳情とかのところで、陳情を審査する場合は、執行部にこの陳情に対してどういう見解があるか、意見を聞いて、討論もあってという流れなので、陳情の有無で中身は変わりますが、方法が変わるというわけではないので、陳情のところはひとまずほかのところで補足できればいいかなと感じました。

あとは、第3回定例会の決算のところですね。これは次の本会議へという書き方じゃなくて、第4回定例会で報告とか、決算の場合は認定か。報告と書いてあげれば、次の第4回でやるんだなっていうのが分かっていいのかなと思いました。

3つ目は、もう細川委員の言われたとおりでいいかなと思うのと、もう1点、全部の定例会そうなんですけど、議会運営委員会で日程を決めてるので、議会運営委員会もあるといいかなと思いました。

以上です。

○山代委員 小田上委員のおっしゃるのは、本会議の前に議会運営委員会のスペースが欲しい。陳情請願に関しては、デフォルトでなくても構わないという御意見でよろしかったでしょうか。ありがとうございます。

ほかに御意見はございませんでしょうか。

岡委員。

○岡委員 細川委員の御説明ですけれども、細川委員御自身は、この補足説明というのはあったほうがいいとお考えですか。それとも、本当はないほうがいいと思っておられるけれども、何かあったときのためという意味でしょうか。

○細川委員 これ、実は元データというか、茅ヶ崎市議会を参考にしています。あそこは私が補足説明したところが、議案説明になってるんですよね。初め、議案説明って書いたんですけどね。委員会では議案説明はしてないと。でも、必要があれば補足説明はあるし、一応委員会の最初に、基本的には原則委員長が聞いているので、入れといたほうがいいのかなと。いきなり質疑じゃちょっとどうなのかなと思ったので、私は入れたほうがいいと思ったんですけど、毎回ないことのほうが多いので、必要ないということであれば削除してもいいのかもしれない。そこは皆様の御意見を伺いたいです。

○山代委員 岡委員。

○岡委員 今お尋ねしたのは、確かにあると理解しにくくなってしまうというのは確かなので、なくてよければないほうがいいのではないかと、私は思いました。

以上です。

○山代委員 副委員長。

○末広副委員長 確かに補足説明だけじゃ分かりづらいな。これ、議案の補足説明って書いていいんじゃないですか。

○山代委員 なくていいという意見と、あくまでも一旦、あるなしにかかわらず説明の文言は入りますので、補足の前に議案と付け加えるという意見が出ましたが、皆さんはいかがでしょうか。

委員長。

○寺岡委員長 一議員としての意見なんですが、まず今、補足説明についてのところからいけば、これはもうなくしてもいいんじゃないかなと個人的には思います。できるだけ分かりやすく伝えるっていうのが本旨ですから、なくて構わないものかなと考えます。

それから、ほかのところも意見があった部分に付け加えていっていいですか。

○山代委員 どうぞ。

○寺岡委員長 まず臨時会は、チーフが準備してくださった資料に、会議録とか常任委員会が付託ってということで説明文があります。臨時会があればこういった説明文を付け加えていくというところでもいいんじゃないかなと思います。

それから陳情・請願は、ほかの方と同じように、特に入れなくても扱いがそっくりですので、いいんじゃないかなと思いました。

あと決算のところについては、特別委員会のところに閉会中と横字で入れるのがいいんじゃないかなと思います。

議会運営委員会について、議会運営委員会の言葉を入れるのは賛成です。

以上ですね。

○山代委員 ほかに御意見はございませんか。

委員長。

○寺岡委員長 この閉会后っていうのが、ほかの定例会の流れの中にないんですよね。なので、決算特別委員会は本会議閉会中っていうのを、この横書きのところの上ぐらいに足なりして、本会議の閉会中に決算特別委員会を開いてますよというニュアンスが伝わればいいかなと思いました。

○山代委員 ほかに御意見はございませんか。

副委員長。

○末広副委員長 流れのところなんですが、デザインは広報広聴特別委員会で作成ってあるんですけど、これはここに載せてる分をそのまま使うっていう話じゃなくて、データでいただいて、広報広聴特別委員会でそれに合わせてデザインしてくれ、色を変えてくれとかっていう話なんですかね。

○山代委員 委員長。

○寺岡委員長 これは委員会の運用のことですので、私からお話させていただければと思います。基本的に今日これまでの皆さんの取組で、今日ここまで仕上がってきていると。これが情報バンク、材料としてこの委員会の中で決まるわけですよ。あとは、市議会だよりのほうでも、紙面の余白とかが都度デザインが変わってきます。どうしても文字をあと1行減らさないといけないという場面も起こってくると思うんですよ。その辺りは、一々皆さんにまたお諮りするわけにもいきませんので、委員長のほうで、趣旨が変わらない程度の若干の変更というのはお許しいただいて、この中身について、中身をみんなで決めたというところでとどめておいていただいたほうが、汎用性が高くなるんじゃないかなと思います。

ですので、さっきみたいな決算の表現をどうするかあたり、細か目なところも決めてい

ただいたら、あとは広報広聴特別委員長と相談しながら、細かいところはやらせていただけたらと思うんですが、どうでしょうか。

○山代委員 今、委員長から御意見をいただきましたが、皆さんいかがでしょうか。

では、定例会の主な流れというのは、こちらをベースとして、デザイン等はお任せするという形で、広報広聴特別委員会に御提案というか、お伺いをさせていただければと思っています。

岡委員。

○岡委員 少しだけ戻るんですが、この中でやっぱり一番分かりにくいのは第3回のところで、ピンク色になってる閉会后や次の本会議へというところですね。一番最後にある、次の本会議へというのも、ちょっと分からないのではないかと思います。これは第4回の定例会に回るという意味ですよ。

そこがまず分かってもらえないだろうというのと、そして第4回の定例会の流れの、どこにそれが入ってくるのかというのが、第4回の本会議の一番最初の決算特別委員会、委員長報告につながっていくということでもよかったですよね。そのところを、もう少し分かりやすい表現にできないでしょうか。

○山代委員 ただ、先ほど次の本会議へというところは、次回第4回定例会へという文言に修正という御意見はいただいております。ですから、それだけではちょっと不足があるというところで、第4回のほうにも分かるような表記を入れてほしいということでもよかったですかね。

委員長。

○寺岡委員長 細かなことではあるんですが、だったら第3回の一番最後に、第4回定例会最終日としておいたらどうでしょう。

○山代委員 今、委員長から修正の案をいただきましたが、皆さんいかがでしょうか。

小田上委員。

○小田上委員 委員長報告といえば定例会の最終日のイメージなんですけど、決算を確実に最終日にやるっていうことになってれば問題ないかなと思うんですが、それは問題ないんですかね。

○山代委員 事務局から流れについて問題ないかどうか、何かございますか。

局長。

○山田議会事務局 決算でいえば、通常は最終日にやっていますが、最終日にやらなきゃいけないことは、ないといえませんが、9月の市議会だよりを作成する時点で最終日というのを入れておくと、今までと違う運用をしたときには、そこは変わってしまうということは起こり得るということですね。

○山代委員 委員長。

○寺岡委員長 であれば、動議が出た場合や、委員会への差戻しと同じレベルだと思います。軽微な範囲だと思いますから、最終日で問題ないと思います。

○山代委員 岡委員。

○岡委員 ただ、最終日かどうかというのは、割と議会側の細かい都合というか流れ、決ま

りであって、市民が読んで、最終日に何で回るのかというのが、多分理解できないのではないかと思います。

なので、そのところは、最終日かどうかはともかくとして、第4回のこういうところであるというのを、少しここは説明になります。ちょっと細かくなりますけど、第3回の一番最後のところで若干説明調にして、そのスペースは先ほどあった補足説明を省いてスペースを稼ぐということではいかがでしょうか。

○山代委員 今、岡委員から御意見をいただきましたけれども、具体的な流れについては、もう一度確認が必要だと思います。

どなたか、こちらに對しまして御意見があればよろしく願いいたします。

委員長。

○寺岡委員長 そう変えてもいいし、マメ知識っぽく説明を加えてもいいし、何かにこだわるというものでもないかなと思います。あまりごちゃごちゃせずにさっぱりするにはどうするかということで、考えたらいいかなと思いました。

○山代委員 今委員長から意見をいただきましたが、そちらでまとめさせていただこうと思うんですが、皆さん、ほかに御意見があればお願いいたします。

小田上委員。

○小田上委員 経験してるのでどういうものか分かってますけど、多分これを見るだけでは、市民の方は、基本的に全部これを理解することすらも、どんなものなのかっていうのは分かりにくいとは思うんですね。

ここは分かりにくいだろと思っていっぱい付け加えていくと、情報量が多くなり過ぎて、もう見るのもやめてしまうみたいなことになりかねないので、まず、ここでは興味を持ってもらって、何か流れがあるんだなというところに置いておいて、委員長の言われたマメ知識とかに、今、岡委員の言われたところも追加していつてあげるのがベストな方法なのかなと思いました。以上です。なので、ひとまずこのままでいいんじゃないかなと思います。

○山代委員 今の意見を踏まえまして、皆さんいかがでしょうか。

岡委員。

○岡委員 1つ提案ですが、こういうふうにしてはどうでしょうか。その第3回定例会の一番最後から2つ目に、採決とあります。ここの採決のところを、もう採決して第4回定例会で報告というふうに、その採決の中に入れてはどうでしょうか。

○山代委員 小田上委員。

○小田上委員 質疑、討論、採決ってあって、採決のとことに括弧書きか何かで、第4回定例会で報告みたいな文言が入るってことですね。採決、結果は第4回定例会で報告みたいな注釈があれば分かりやすいかなと、今思いました。

○山代委員 岡委員。

○岡委員 分かりにくかった1つの原因というのが、第3回定例会の主な流れにある次の本会議へというのが、この決算特別委員会だけの話なのか、それとも本会議、委員会、本会議、決算特別委員会と、これ全体の流れが次の本会議へとなっているのかが分かりにくか

ったっていうのがあると思います。なので、その次の本会議へというのを取って、さっき小田上委員が言われたように、採決して次の定例会で報告とやるだけでいいのではないかという意味で申しました。

○山代委員 他に御意見はございませんか。なければ、その案を最終として承認させていただければと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山代委員 では、採決の横にただし書で入れるというところと、次の本会議へのところを、第4回本会議へという部分を加えるとさせていただければと思います。

細川委員。

○細川委員 確認させてください。今の第3回定例会の主な流れのところなんですけれども、まず閉会後っていうのと、次の本会議へっていうのは、これは両方とも削除ですか。

○山代委員 いえ、閉会後を閉会中に変更で、次の本会議へというのが、第4回定例会へという文言に変更です。

○細川委員 閉会後のところは閉会中の継続審査に変えるということですね。

私の今までの話の流れだと、ここは第4回定例会へを入れるよりは、採決のところに括弧書きで、第4回定例会で報告と入れたほうが、誤解が少ないんじゃないかといった御意見だったと思うんですけど。

○山代委員 そうですね、すみません。採決のところに、次回、第4回へという文言で、では最終の次の本会議へというところは、削除という形でよろしいでしょうか。

岡委員。

○岡委員 それで、私はいいかと思います。ただ、この閉会後のところもなんですが、これが閉会中に変わるとしても、やはり閉会後、閉会中に決算特別委員会があるというのは、また分かりにくいのではないか。むしろ、形式的にはそうかもしれないんですが、もういっそこも削除してしまうということは可能でしょうか。

○山代委員 流れ的なものはちょっと置いていて、どちらのほうが見て分かりよいかという形になろうかと思うんですけども、皆さん、そこについてはいかがですか。

委員長。

○寺岡委員長 今御提案いただいたんですけど、マイナスできるものはしていったほうがいいと思います。とにかくシンプルにするのがいいんじゃないかなと思います。

○山代委員 では、閉会後と次の本会議へというところは削除させていただこうと思います。採決のところに、括弧書きで追加させていただくということよろしいですかね。

小田上委員。

○小田上委員 第3回定例会の主な流れの2回目の本会議のところ、赤矢印で閉会後ってますけど、この赤矢印と閉会後を消してしまうのでいいんじゃないかなと。それでも分かりにくいようだったら、本会議、委員会、本会議自体をまた一枠で囲ってあげて、別物だやってやってあげるとかなんですけど、もう何かごちゃごちゃし過ぎるかなと。

○山代委員 他に御意見がありましたらお聞きいたしますが、いかがでしょうか。

副委員長。

○末広副委員長 聞き逃してたら申し訳ないんですけど、補足説明は削除でよろしかったですか。

○山代委員 補足説明は削除でよろしいですかね。では、それでさせていただこうと思います。

では次に、大枠で本会議・委員会の流れというところになります。

定例会の流れの最終ページに、会議録についてと、議案を常任委員会へ付託する訳という2つを足しております。

それと、前回提出しております議会だより活用班参考資料④、こちらを大枠の材料として、広報広聴特別委員会にお伺いさせていただこうと思いますが、そちらに関して御意見があればよろしくお願いいたします。

かなり前ですけども、大竹市議会だよりに掲載されたものをベースに、一から私が作り直しておりますので、流れ自体は間違いがないかなと思いますが、あとは文言等の部分ですね。修正があるようでしたら、よろしくお願いいたします。

小田上委員。

○小田上委員 代替案が浮かんでないのに発言するのは非常に申し訳ないんですが、議案を常任委員会へ付託する訳の2段落目、しかし、細かく専門的なところで議員を分けたほうがいいと書いてあるけれども、うち2つにしか分かれてないので、そこがどうなのかなと思いました。

以上です。

○山代委員 確かに、2つにしか分かれてない。ただそうすると、常任委員会を2つに分けるということは、倍の人数でやると意見がまとまらないという可能性も考えられるので、2つに分かれてるのかなとは思いますが。

小田上委員。

○小田上委員 山代チーフの説明だと、「しかし」のところと反する気がするんですよ。読解力がないのか、専門的な話をするのには席数が多いって書いてありますよね。でも、複数の委員会を設けて、分割して、席数は少なくなってる。でも、何で、少なくなり過ぎるといけないので2つに分けてますという取り方もできるのかなと思うんですけど、常任委員会に付託する訳にはなっていないような気がします。

○山代委員 この席数を多くというのは、議員側ではなくて説明員の話に係ってくると理解をしております。ですから、回答する側の人数が同じでやると、倍の席数が要りますよという形なので、席数を絞ってるという意味に取っていただければ助かります。

ほかに。

委員長。

○寺岡委員長 細かいところですが、応答を繰り返すには議員を分割し、説明委員、じゃなくて説明員ですよ。句読点の位置をずらしたらいいんじゃないですかね。

○山代委員 そうですね。説明委員と表記しておりますので分かりづらかったかなと思います。説明員と修正いたします。

○寺岡委員長 句読点の位置もお願いします。

○山代委員 はい。

ほかにございませんか。

委員長。

○寺岡委員長 先ほど、臨時会の、会議録についてのような説明をつくったかどうかという部分は、もう委員長にお任せいただいていいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山代委員 細川委員。

○細川委員 会議録のほうなんですけど、これは本会議の会議録についての説明なんですけど、今、会議録を逐語で取ってるのは、委員会ですよ。常任委員会も特別委員会も、協議会も逐語で取ってると思うんですよ。あの辺は紹介しておかなくてもいいですかね。この逐語に関しては、ちょっと分かりにくいかと思います。

○山代委員 逐語記録というのが、その次の文、「広島弁で話した言葉もそのまま記録されます」というところに係ってくると考えてますけれども、それでは説明が足りないですかね。

小田上委員。

○小田上委員 まず逐語記録のところなんですけど、会議録は、話した言葉を逐語記録で記録します。標準語に修正せず、広島弁で話した言葉もそのまま記録されますみたいな書き方をすれば、そういうことになるのかなと思ったのと、細川委員の言われた、ほかの委員会も逐語じゃないかっていうことだったら、この本会議の本を取ってしまっ、「会議で話した言葉」にすればいいのかなと思いました。

○山代委員 細川委員。

○細川委員 今の本会議を会議にするのは、賛成です。

逐語記録の説明は、今のだと、標準語に修正しないでそのまま記録したら、それが逐語記録かと勘違いしませんか。逐語記録っていうのは、言ったことをそのまま全て載せるってことですよ。標準語でしゃべっている人の場合は、逐語記録とは言わないということでしょうか。

○山代委員 委員長。

○寺岡委員長 今の細川委員の、さっきの小田上委員がおっしゃった、文字の位置を変えろとかいうのが、どこまで今進んでるのが分からなくなったんですけど、小田上委員の部分にするのであれば問題ないと思うんですけど。

○山代委員 小田上委員。

○小田上委員 本当に申し訳ないんですけど、本を読んでも分からない言葉があったら調べますよね。もうそこまで追い切れないんじゃないかなっていうのが正直なところで、逐語記録をマメ知識に入れるとか、そういう追い方しかできないんじゃないのかなと思います。

逐語記録って、今この話してる言葉がそのまま文章になるよっていうことだと思うんですよ。なので、話した言葉がそのまま文字になりますみたいな書き方が一番いいのかな。でも、では全てを打っていたら、会議録って何ってなと思うんですよ。議事録っていう言葉のほうがなじみがあるような。会議録って何みたいなこともやらないといけなくなる

ので、全部説明するのは無理だと思いました。

○山代委員 会議録についての部分の、会議録の下に括弧して議事録って書くと分かりづら
いですね。

〔発言する者あり〕

○山代委員 では、逐語記録をそのまま外すという形で表記をさせていただきます。

小出委員。

○小出委員 標準語についていうところを外したらどうでしょうか。「話した言葉を修正せず、
そのまま記録します。（逐語記録）」で、シンプルでいいんじゃないかなと思います。あ
と、この説明でちょっと気になるのは、後のマメ知識が関わってくるんだろうと思うんで
すけど、閲覧することができますし、の辺りからちょっと変わってきて、最後は確認して
みてねとなっていて、途中で人格が入れ替わったなと思うので、この辺は、ですますで統
一したほうがいいんじゃないかなと思います。

○山代委員 最後は親しみを込めたほうがいいかなとは思ったんで、「してみてね」にして
みたんですが、皆さん違和感があるということであれば、ですます調に直します。

岡委員。

○岡委員 これ、実は基になっているのが、以前私が持ってきた、2008年8月の議会だより
を基にしているんですね。実はかなり名作だと私は思うんですよ。16年前なんですけど。
これは同じ議会だよりですから、そのままこれを頂いてっていうのは駄目なんでしょうか。
これだと言い回し方、小出委員その他おっしゃった問題が、何か一気に解決しているよう
な気がするんですけども。

○山代委員 委員長。

○寺岡委員長 いろいろ御意見が出たものを、チーフにお任せしていいんじゃないかと思
います。そもそも我々ですら、逐語記録なんていう言葉、何年に1回使いますか。その辺り
も踏まえて、チーフにお任せしていいんじゃないかと思うんですが。

○山代委員 では、こちらは私に一任という形で修正させていただければと思います。よろ
しいでしょうか。

細川委員。

○細川委員 ちょっと確認しておきたいんですけども、今の岡委員の提案の、かつての
2008年のは非常に分かりやすいと思うんですけど、数字を言い間違えたときは訂正してま
すでしょう。そこはちょっと気になったので。

○山代委員 局長。

○山田議会事務局長 実際に会議録をつくるときには、数字の修正であるとか、例えば議案
1を飛ばして言われたりしたときとか、そういったものは、つくる際にこちらで正しいも
のに直してます。方言についても、程度問題だと思うんですけど、これはちょっとあまり
に通じないだろうみたいなきは直しているときもありますので、話した言葉がそのまま
載っているよというのは、実際のところは違うんだということがあります。

その上で、この会議録については、趣旨がそのままのものが載っているということをお
伝えしたい文章であるなら、もうちょっと何か違うほうがいいのかも思ったりしており

ます。実際には、そのままのものではありません。すみません、早く言えばよかったのかもしれませんが。

○山代委員 委員長。

○寺岡委員長 では、私と山代チーフと局長で相談して、今出た御意見を参考にさせていただいてつくって、基本的にはもう任せていただく。ただ、出来上がったものに対しては、皆さんにまた情報発信、これでいかせてもらいますっていうのは出させてもらおうと思いますので、そのときに新たな御意見をいただくってことはしませんが、完成品は、外に出す前に皆さんにお示しできればと思います。それでどうですか。

○山代委員 では、それで進めさせていただこうと思います。

あと、4月11日に、議会だより活用班参考資料④という形で流れをつくらせていただいておりますが、これも材料として、広報広聴特別委員会にお伺いを立てさせていただこうと思います。よろしいですかね。

では続きまして、マメ知識に入らせていただきます。

マメ知識なんですけれども、前回63項目という形で上げさせていただきました。ですが、岡委員から御指摘をいただきまして、重複している部分があるということで、重複を消して全部で58項目を上げております。

小田上委員から御指摘いただいた、かみ砕いての表現というのがなされていないところもまだあるんですけれども、こちらを部材として、広報広聴特別委員会にお伺いを立てさせていただこうと思います。

文言は極力ですます調に直しておりますが、一応、何とかだよという表記も、2件ほど、親しみを込めてつくらせていただいたところがありますので、これでいいかどうかだけ判断をいただければと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

小田上委員。

○小田上委員 1 ページ目の一番下のノートテイクとありますが、これ何ですか。

○山代委員 すみません、修正漏れです。

細川委員。

○細川委員 修正したのが反映してないところが、今、もう一回見直したらありました。例えば7番の、「大竹市議会では、一般質問を一括方式か一問一答方式で行います。」その後、再質問は3回じゃないですね。

もう一回しっかりと読み直してみたほうがいいのかと思うのが1つ。

それともう1つは、さっきの広報広聴特別委員会からのお返事の部分のマメ知識のところなんですけれども、議会だよりの紙面配列に合わせて、縦帯で掲載とあります。

委員会の何日か前に、広報広聴特別委員長と少し話したときに、一般質問のところでは、一般質問に関するマメ知識をメインで縦帯で載せて、常任委員会だったらそれに関する記事を載せるようにしたいと言われてたんです。そうすると、今のこのカテゴリー分けは、広報広聴特別委員会であって使いにくいかなと。決算のときには決算のページが何ページもありますけど、少し紙面に考慮したカテゴリーも入れたほうがいいのかと思ったんですけど、広報広聴特別委員会の中ではそういった議論はされなかったのでしょうか。

○山代委員 一応その話は出ております。

マメ知識のカテゴリの部分に関しては、紙面に即した形で載せたいということで、そういった文言を付け加えてくれという部分は、お伺いとしていただいております。

細川委員。

○細川委員 今回マメ知識にしても、もうまとめみたいな感じだったんですけど、広報広聴特別委員会からそういった御意見もいただいているのであれば、もうちょっと使いやすい形に整理とか追加とかもしたほうが使ってもらいやすいんじゃないかという気がするんですけど、どうしても今日もう仕上げないと駄目ということでしょうか。駄目なの。では今日、5時までやりましょう。

○山代委員 小田上委員。

○小田上委員 運営に関すること口を出して申し訳ないんですが、修正されてないものを幾ら見てもしょうがないので、修正されてるやつを掲載していただいて、ちょうど委員会始まって1時間ぐらい経ちそうなので、それを見ながらまとめて直していけばいいんじゃないでしょうか。

○山代委員 修正してるやつは、手元にあります。ちょっと間違いを送ってるような気がしておりますので、それをまたお送りさせていただきます。

委員長。

○寺岡委員長 では新しいデータを掲載してもらおうということで、ちょっと休憩しましょうかね。どうぞ。

○山代委員 小出委員。

○小出委員 一応パネル班からの提案ですので、大人数で話し合っても結構時間がかかるかなと思うので、ある程度修正したもので、先ほどのこの項目分けについても、多少空いた時間をいただければ、パネル班で項目分けしたものを、また今日の会議中に見てもらおうというのはどうでしょうかね。

○山代委員 委員長。

○寺岡委員長 時間どれぐらい要りますかね、小出委員。

小出委員、どうぞ。

○小出委員 私の意見でいいのであれば、30分ぐらい。

○寺岡委員長 分かりました。では、今からすぐ取りかかっても大丈夫ですか。

では、資料の整理のために、30分ほど休憩させていただきます。再開は11時半でお願いします。

11時00分 休憩

11時32分 再開

○寺岡委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を続けます。

さきの休憩中に、担当グループの皆さんが資料を調整していただいて、改めてアップしていただいていると思います。

ではチーフ、引き続いてお願いします。

○山代委員 今、サイドボックスに掲載しておりますマメ知識は修正を反映したものとなっ

ております。また、広報広聴特別委員会に提出するカテゴリーとして、カテゴリー2を追記しておりますので、これを基に協議させていただければと思います。

協議に入る前に1件だけ確認させていただきたいと思います。25番ですね。「大竹市は役所職員約5名が議会に出向して構成されています。」という文言があると思うんですけども、文言的に出向で問題がないかどうかだけ、事務局に確認させていただければと思うんですけども。出向で問題ございませんか。

ありがとうございます。では、約5名の「約」は削っておきます。

こちらのほうで何か御意見があれば、全体的によろしくお願いいたします。

委員長。

○寺岡委員長 冒頭でお話しさせていただいたんですが、基本的には情報の材料として、この委員会の中で決めて、使い方については、私たちもちろんそうなんですが、広報広聴特別委員会で、自由に使っていただくようになるんじゃないかと思います。この後、わしコイちゃんの人格表現にするかどうかというのに関わっていくんですが、てにをははちょっと置いておいて、趣旨が合ってるかどうかというところを御確認いただけたらと思います。

○山代委員 よろしくをお願いいたします。確認する作業をしながらなので大変申し訳ないんですが、何かありましたら、よろしくをお願いいたします。

副委員長。

○末広副委員長 14番の議決権の最後って、「議員も言い間違うことが」、「あ」がないのはいいとして、最後の、言い間違うことがありますみたいなのは、入れたほうがいいですかね。

○山代委員 岡委員。

○岡委員 私、説明してもいいでしょうか。これは、もともと何々だよっていうあの言い方の原稿だったんですね。そして、議員も言い間違うことがあるよっていうような、軽い言い方だったんですよ。それが、こういうふうになですます調になると急に厳密な感じになってきて、今みたいにちょっと気になってしまうので、御質問とはまた別ですが、私はここは何だよっていうようなほうが、誰もがソフトにこれを受け止めてくれて、細かいことだんだん市民も私たちも目くじらを立てなくなるので、「よ」のほうがいいと思います。

○末広副委員長 それについては、多分次のわしコイちゃんの人格のところでも話し合うと思うので、そこで話し合えればいいと思います。

入れるかどうかということですね、言い間違うことがあるよというのを。

○山代委員 入ってたほうがいいのかという方と、ここは蛇足ですよという方がいらっしゃるんですが、削る方向でよろしいですか。それとも残しとったほうがよろしいですかね。

小田上委員。

○小田上委員 入れといてもいいのかなと思いました。ここも入れるかどうかって、最終的には広報広聴特別委員会の中で、判断されると思うので、この一言あってもいいような気がします。

次の予算のところ、「議員は寝食を忘れて読み」は要るかなって。何かこの人間ぽさを

出すために、だんだん出ていって砕けた感じにもなりつつのところで、その一連の流れがあればいいですけど、どういう組合せになるかが分からない中で、こういうのがちょくちょくイレギュラーであるよりも、こういうのはなくていいんじゃないかなと思いました。

なので、寝食を忘れて読み、を削るんだったら言い間違うこともありますような、こういうプラスなところはもう、外しちゃってもいいのかなと思いました。

○山代委員 そこに関して、ほかに御意見はありますでしょうか。

〔発言する者あり〕

○山代委員 では、両方とも消すという形にさせていただければと思います。

ほかに何かございますか。

小田上委員。

○小田上委員 一般質問の20番。最後、「鋭い質問も飛び出します。」も要らなくないですか。

○山代委員 末広副委員長。

○末広副委員長 ベースがその軟らかい表現というところで、多分、ほかのところも結構ありそうな感じなんですよ。24番の臨時議長、「1時間たらずの短い役目です」とかも、そういうところを含めたら結構あるような気がします。取りあえず消して、決まりみたいなのをですます調で硬く書いて、表現については、次、表現の仕方のところにもなりますし、広報広聴特別委員会に表現のところは任せる形になるんじゃないかなと思います。ここはもう全体的に、こういうのは消しといていいんじゃないかなと思います。

○山代委員 岡委員。

○岡委員 まさに私が思っていた4か所を、全て指摘をされました。実は、いずれも私が新たに提案したものなんですけれども、このマメ知識をこのたび全項目読むと、やっぱり地方自治概論のテキストみたいな説明になっているんですね。とてもこれでは市民に今後読まれそうにないので、言わばここでしか聞けないような話というのを盛り込みながら、ちょっと書き直してみた4か所を、まさに指摘をしておられました。

特に、さらにそれをですます調に変えたりしているので、やっぱり厳密に考えてしまうんですよ、皆さん。それが軟らかい表現だと、そうなのかと、お互いに、私たちと読む市民の立場でも、ちょっとした読み物にしてるんだなというような見方が成立するので、あまり気にならないと思うんですよ。

だから、ですます調に変えたと、こういうふうにすごく、そこは要らんだろうとかっていう感じになってくると思うんですよ。

○山代委員 小田上委員。

○小田上委員 2つ続けて、こっちはないほうがいい、こっちはあったほうがいいっていう基準が、自分の中での基準でしか言えないんですね。こういうものを見たときに、自分の中で、これって大丈夫なのって思うものもあれば、全然いいじゃんって思うものもあるんです。その基準は多分それぞれだと思います。

岡委員の言われるように、砕けた感じのほうがよくて、硬くないほうがいいっていうのはすごく分かるんですけど、ではそこの線引きって難しいなと思います。なので、そこは

口調を変えとか、書き方を変えるっていうところで、最終的には個々の判断になると思いますが、対応するしかないのかなと。あまりラインを引くのが難しいので、ちょっとやめたほうがいいかなと思います。

加えて35番、次のページですね。研究会その他のところ。「専門テーマの研究会が頻繁に開かれています。」研究会、今回の議会になって結構開かれていますので、これはいいと思いますけど、「議員は市政を考えて忙しく勉強しています。」は要らないと思います。

忙しくて誰から見て忙しいのかとか、主観的なところが入るようなのは、ひとまず削除していったほうがいいんじゃないかなと思います。

○山代委員 今、小田上委員の発言にもありましたように、主観を交えて書くというところは難しいのかなと考えております。

ほかに御意見がありましたら、よろしくお願いいたします。

一応ざっと見ていただいて、これを最終的な案として、広報広聴特別委員会にお伺いという形で提案をさせていただく形になっております。これが最終形ではございませんし、議会のあり方調査研究特別委員会で決めたものがそのまま載るとも限りませんので、先ほど委員長が言われたように、ですますの部分もしかりなんですけれども、内容が全くおかしいという部分でなければ、カテゴライズしたこちらの項目で提出させていただこうと思っております。

また、それに加えて、広報広聴特別委員会から表記の方法で意見が割れたということで、議会のあり方調査研究特別委員会で、ですます調とわしコイちゃんの人格表現にするか、申し添えてお伺いを立てるほうがよろしいと思うんですが、こちらに関して御意見がありましたら、よろしくお願いいたします。

小田上委員。

○小田上委員 すみません、マメ知識に戻るんですけど、25番も「議員にとって大変頼りになる存在です。」間違いはないんですけど、これも主観だと思うので、やめたほうがいいと思います。

広報広聴特別委員会で意見が分かれたと御紹介いただいたんですけど、どういう理由で分かれたのかが分かれば考えやすくなるかなと思ったんですけど、御紹介いただけたらありがたいんですが。

○山代委員 副委員長。

○末広副委員長 わしコイちゃんのところは、さっきも岡委員がおっしゃってましたが、なじみやすいっていうところで、Xでもやらせていただいているので、統一してなじみやすいようにっていうことですね。

ですます調は、やっぱり議会だよりなので、内容も比較的硬いといっでは何ですけど、そこに統一してですます調にしたほうが、違和感がないんじゃないかというところですかね。

○山代委員 岡委員。

○岡委員 そこなんです、縦帯のところなので、番外感があると思うんですよ。だからそこを利用したほうがいいと思う。先ほど主観を排するというところがあるんですが、実際

に市民がどこに興味を引かれるかということを考えると、例えばですけど、私は主観とは逆に、例えばマメ知識の51番を御覧ください。意見書のところですけど、例えば議会の意思をまとめた文書を国などに提出、それはいいですが、地方自治法96条に規定されているかどうかということが、市民に関心を持たれるかというと、まずないと思います。

むしろこういうのが載ると、何かここは面白くないところだよなと、その縦帯のところですね、読まれなくなってしまうんじゃないかと思います。むしろここでしか聞けない話というのを盛り込むほうがいいと私は思います。そこを、先ほどから主観と言われているんだとは思いますが。

○山代委員 委員長。

○寺岡委員長 小田上委員の問合せについて、今、末広副委員長は、広報広聴特別委員としての立場で発言されたんですか。

○山代委員 副委員長。

○末広副委員長 広報広聴特別委員として、そのときにあった発言をしました。

○寺岡委員長 広報広聴特別委員としてこういうのを耳にした、こういう意見の分かれ方があったというのを御紹介くださったということですね。

岡委員の発言は、今のは個人的な御意見ですか、それとも広報広聴特別委員会の中で聞かれた御意見ですか。

○山代委員 岡委員。

○岡委員 私は広報広聴特別委員ではありません。

○寺岡委員長 小田上委員の分は代わりに副委員長が、今紹介していただきました。じゃあどうするかというのを、チーフ、お願いします。

○山代委員 先ほど岡委員の発言にあった文言ではなくて、今議題に上がってるのは、ですます調にするか、Xで使用しているわしこいちゃんの人格にするかという2択の議論と認識しております。こちらで、御意見をよろしく願いいたします。

小出委員。

○小出委員 私は、ですます調でいいんじゃないかっていうことで、お硬いという意見もありますけれども、議会だよりってというのは、この議会から発行する唯一の出版物ですよ。それなりの品格、品性というものが無いといけないと思うので、どこまで砕けるかというのと、紙面自体もどこをターゲットにしているかっていうのもありますけれども、先ほどの地方自治法の何条という説明も、より詳しく内容を調べてみようという人にとっては、それは一つのいい情報になるんじゃないかなとも思ったりします。

わしこいちゃんは、今、広報広聴特別委員会のXで利用してますけど、それは本当にこの入り口ですよ、市民に対しての。ですからそういう呼びかけ、そういうアプローチもいいのかもしれないんですけど、議会だよりの言葉の説明でいうのであれば、ですますで、ある程度の格式を持ったものでいいのかな、読者層もそうじゃないのかなと思うんですが。

○山代委員 他に御意見を。

小田上委員。

○小田上委員 縦帯っていうのが、開いて右端、左端に、縦に書いてあるイメージをしてる

んですけど、まず週刊の漫画とかでいくと、縦帯って結構別枠で面白いんですよね。編集の人が書いてたりするっていうので、全く関係ないことはないにしても、全然違うことが書いてあるので、そういう感覚でいくと読みやすくいいかなと思ってて、ここは崩したほうがいいんじゃないかなと思います。ただ、例えば方言にすると、あまり崩し過ぎると伝えたいところが伝わらずに、方言を読むのに一生懸命になっちゃうというのがあったりするんで、崩し方は要注意かなと思います。

ちゃんとしたものだからっていう小出委員の意見はすごく分かるんですけど、やっぱりちっちゃいときにどうだったかって考えてみると、4コマ漫画が見たいから新聞を手にとってたこともあるんですよ。何か大きい見出しはちょっと目に入ったりしてっていう記憶もあるので、いいんじゃないかなと。わしコイちゃんがしゃべってるのが面白いってなればいいかなと思ってて、僕は全部が全部かっちり硬くないといけないうというイメージではないので、ここは崩してこの硬い文章が軟らかくなって、触れやすくなるかなと思いました。

以上です。

○山代委員 他に御意見はございませんでしょうか。

私が以前、個人的な意見ということで、小学校高学年の方がっていうお話をさせていただいたんですが、それに引っ張られてる部分もあるのかなと考えております。あくまでも内容自体はすっと入ってくるレベルで書く必要がある。それはですます調であってもわしコイちゃんの口調であっても変わらないと考えておりますが、あくまでもターゲット層は、それよりも大分年の方という、今現状ある層を考えていただければと考えております。そこを踏まえてどちらにするか、また御意見があればよろしく願いいたします。

委員長。

○寺岡委員長 一委員としてですが、このたび、広報広聴特別委員会が、あとがきを削除または短縮で、いろいろ当委員会の意見に耳を傾けてくれます。決定したことしか載せられない、議会で上がったことしか上げられないというのが議会だよりなんです、そこに委員が有機的に関われるという意味では、口調については柔らかなものに、わしコイちゃん的人格表現というところでやっていただいていいんじゃないかという意見です。

○山代委員 他に御意見はございますでしょうか。

岡委員。

○岡委員 例えば、例で言いますと、マメ知識の19番を見てもらえますか。定例会のところ、最後のところですけども、3の倍数月と覚えてねというのを、もしこれをですます調にすると、3の倍数月と覚えてくださいだと、もうそんなのいいじゃないかと、こういう感じになると思うんですよね。3の倍数月と覚えてねということで、ぶっちゃけて言ってるなという感じが、読者側にも私たちの間にもあって、それだったら誰ももう文句言わないだろうと。そして、そうなのかという、市民の間にも気づきみたいなのが出ると思うんですよね。

一方、その下のところ、20番ですね。鋭い質問も飛び出しますっていうのがもう非常に硬くて、要らんじゃないか。でも、これがもし「鋭い質問も飛び出すよ」だったら、ぶっ

ちゃけて言ってるんだなという共通の認識が成立するので、市民も誰もそんなもんだろうと、ここはそういう企画だよなと思うんですね。

そういう、この縦帯の番外感というのは、やっぱり活用したほうがいいというのは私の考えです。

○山代委員 他に意見はございませんでしょうか。

では、意見がないようでしたら決を取ろうと思いますので、委員長に一旦お返しいたします。

○寺岡委員長 それでは、ただいま議題となっております議会だよりにおけるマメ知識の揭示方法について、広報広聴特別委員会から問合せがありました。先方では意見が拮抗しているということでございます。

我々の意見はあくまで参考としかありませんが、皆さんから御意思を確認したいと思います。

ですます調で表現すべきか、わしコイちゃんの人格表現にするか。先に、ですます調という方から、賛成される方は挙手をお願いいたします。

3名でございます。

続いて、わしコイちゃんの人格表現に賛成の方、挙手をお願いします。

4名でございます。

では、この結果をこのまま広報広聴特別委員会にお知らせをしたいと思います。

以上です。

○山代委員 では、こちらは伺いとして、寺岡委員長から広報広聴特別委員長に打診していただければと思います。

岡委員。

○岡委員 すみません。ちょっと補足的に申しますと、わしコイちゃんというと、すごく細かく、多分なってしまうと思うんですよ。そうじゃなくて、最後のところ、この一通り書いてある一番最後のところが、よとねで終わる。言わば、どこにもないんですが、よ、ね調という。

○山代委員 委員長。

○寺岡委員長 御意見としてはそうなんですが、先方からの問合せは、ですます調か、わしコイちゃん表現かということですので、結果をお伝えをさせていただこうと思います。

○山代委員 他になければ、以上とさせていただきます。よろしいですか。

では、委員長にお返しいたします。

○寺岡委員長 では、日程1は以上をしたいと思います。チーフ、どうも長時間ありがとうございました。

それでは日程2、政務活動費の件について、末広チーフをお願いします。

○末広副委員長 政務活動費についてやらせていただこうと思います。

前回、文書は宿題で意見をいただいて直して、今回、決を取らせていただくっていうお話をさせていただいてたと思います。

大変申し訳ないんですが、私が文書をサイドブックに掲載するのが遅いところもあっ

たので、読んでいただいたかどうか分からないんですけども。

いただいた意見を反映させて、委員長に確認していただいているんですけども、これを要請文として、参考資料に事務局が作成した県内の状況を添付して提出しようと思うんですが。

ちょっと読む時間を取ったほうがいいですかね、少し。

小田上委員。

○小田上委員 メールで一旦、15日に修正しましたといただいていると思うんですよ。そこから修正したところがあれば紹介してもらったら、それで僕はすぐ確認作業が終わるんですが。

すみません。国語力の個人の問題なので申し訳ないんですが、理由の案の最後の大きい枠、「本会議と致しましても」の「致しましても」って、この「致す」っていう字を使うんでしたっけ。使いますってことなら、それでいいです。

○末広副委員長 これは漢字としてということですよ。

事務局、これどうですか。

○山田議会事務局長 ちょっと調べてはないですけど、間違いではないと思います。ただ、通常、公用文では多分平仮名で書いているかなと思います。

○末広副委員長 ここはもう平仮名に修正させていただくってだけでいいですかね。

ではあと3分ぐらい読んでいただいて、決を取りましょうか。

山代委員。

○山代委員 修正案のところで、一番最後、御検討をよろしくお願いいたしますなんですが、私の意見としては、御検討のほどよろしくお願いいたしますと修正をさせていただいたつもりなんですけれども、いかがでしょうか。

○末広副委員長 すみません、いただけてますね。これは私のミスではあるんですが、「ほど」ってあったほうがいいですか。

〔発言する者あり〕

○末広副委員長 では、もういいですか、このままで。

では、決を取らせていただこうと思います。

先ほど言った、理由案を基に参考資料を2つ添付して、議長に提出させていただくという形でよろしいでしょうか。

賛成の方は挙手をお願いいたします。

全員ですね。ありがとうございます。

こちらで提出させていただこうと思います。

以上で、政務活動費、決が出たので、ここで締めさせていただこうと思います。委員長に代わります。

○寺岡委員長 末広チーフ、長時間どうもありがとうございました。

ではこれを、先ほど結論が出ましたものを、議長のほうに御報告及びお願いをさせていただこうかと思います。

議長は、またこの後、取扱いをどうぞよろしくお願いいたします。

では以上で、日程 2 を終わります。

続いて日程 3、進捗の整理とこれからの活動ということでございます。

このたびの議会情報の送受信と政務活動費について、それぞれの両チームに随分と御活躍いただいて、皆さんの御協力のもと、一定の形にたどり着くことができています。これをまたさらに発展させて、実行動としてつながっていければと思います。

進捗の整理なんですけど、もう一個、私が進行させていただいた議会議員の心構え、これについては前回の会議で、明文化はやめておきましょうという結論に至っています。

積み残しを整理したところ、皆さんにお伺いしておきたいのが、4年間かけて議会全体で共有を図りながら勉強会を続けてはどうかという意見が、前回出ました。それから、改選ごとの議員研修にしてもらって、勉強会を全体で行う、これらについて、規約や申合せ要綱をひもといて加えられそうな部分を探すというふうに、皆さんにはお話をさせていただいて、要綱とか申合せでは、この心構えを加筆するのにふさわしい部分というのが、私からはちょっと見つけることができませんでした。加えるとすれば、議会基本条例の逐条解説に加えていくということになろうかと思います。

そういったものを全部ひっくるめて、議会全体で共有を図りながら、この議員の心構えについて勉強会を続けてくださいというお願いを、議長なり、もしくは議長を通じて議会運営委員会なりに申し出るかどうか、この辺りの皆さんの御意思を確認しておきたいんですけれども、どうでしょうか。このまま置いておいてももちろん構わないんですが、必要であれば、議長に委員会として申入れをしていきますけど、いかがでしょう。4年間勉強するかどうか。

細川委員。

○細川委員 それは議員の議会のあり方調査研究特別委員会とか心構えとかについて、引き続き4年間、議長あるいは議会運営委員会主催になるかもしれないけど、そういう勉強会をやってくださいとうちの委員会からお願いするということですね。

○寺岡委員長 そういうことです。

○細川委員 私はしたほうがいいと思います。

○寺岡委員長 ほか、御意見いかがでしょう。

末広副委員長。

○末広副委員長 うちの会派からも言わせていただいた案ではあるんですが、どうやるかが正直見えないところで、4年間ここでやりますっていうお願いをしていいものかどうか。ただ、そのやり方をここで言っていると、もう切りがないっていうのもあるんですけど、そこが悩ましいところではあるなと思ってます。内容が見えないので、どうなのかってところですね。

基本的には、このまま上げてはまずいのかなと思います。

以上です。

○寺岡委員長 ほか、御意見等ありますか。

小田上委員。

○小田上委員 議会の中で、議員の勉強会、研修会っていうのは、定期的に議長主催でやっ

ていただいていると思います。その開催する際にこういうものを盛り込んでほしいというお願いしておいて、基本条例を見直す機会等もあると思うんですね。なので、やり方はその都度、都度で変わるとは思うんですけど、これに触れてほしいという形でお願いはできるのかなと。なので、したほうがいいのかなと思います。

○寺岡委員長 ほか。

山代委員。

○山代委員 私はまだ議員になって歴が浅いので、議員の心構えとかが全部把握できている部分も少ないのではなかろうかと思うので、そういう機会を設けていただくことは大変ありがたいと思いますし、賛成です。

○寺岡委員長 ほかはいかがですか。御意見ありますか。

では、意見を伺うのはこの程度にしまして、口頭で申入れという程度にしておきましょうか。これまでの半年間の中で、例えば議員必携、また前回上がった地方自治研究機構の資料、それから議員全体で高沖先生をお招きした講義なども、ここがきっかけで始まった経緯があります。

私たち委員会としては、議会全体に、こうしたことをしっかり踏まえて勉強をまた深めていきたいと思いますという発信は、間接的ではありますが、できてきたのではないかなと思っております。

私たち自身も、議員必携、また研究機構の資料をはじめ、いろいろなものをまた改めて深めながら努めていくと同時に、議長には、ここまでこういった勉強をしてきました、ぜひ機会の際には、議員全体がこれについてもっと興味関心を深めて、知識・理念を深めていけるように努めていただきたいということを、口頭で申し入れたいと思います。その程度でよろしいでしょうか。

では、そのようにさせていただきます。

では、この件につきましては、協議事項のメモ最新版をご覧くださいんですが。一番最後のページの一番下に、結論と出させてもらってます。これが前回の会議で上がった結論が、こういう形かと思います。

当委員会としては、心構えの明文化は、現時点では内容の精査が不十分でありふさわしくないと。中間報告にこれまでの活動をしっかり組み入れていくこととする。会議の過程によって、おのおので学んだ成果は、委員はもちろん、各派会派でしっかり共有してもらう。この辺りが着地点ではないかなと思います。

あわせて、議長に口頭で申入れとさせていただいてよろしいですかね。ありがとうございました。

では、この件につきましても、一旦の決着を得たとさせていただきます。

今後の活動についてなんですが、活動計画その3を御覧いただければと思います。

3月中に皆さんにお示ししたもので、もう4月が終わろうとしています。これまでの3つの優先テーマとして取り組んできたものを、しっかり効果を確認しながら、併せて優先テーマ②を今後決めていくことになろうかと思います。

次の会議では、この先のテーマを決めるところから進めていきたいと思います。10月26

日の会議のワークシートのまとめというのがあります。これが、この委員会が発足したときに皆さんからいただいたアンケートです。

あわせて協議資料の中に、私たちの前の委員会で上がった改革事項15項目の資料が、協議資料の中に入っています。これらを中心としながら、次の優先テーマをまた上げていきたいと思います。

皆さんお忘れかもしれませんが、これまでの協議の中で、新しい提案はできるだけ控えてくださいとお話をしています。ですので、10月26日のワークシートまとめと、前回までの委員会の資料、これが中心になろうかと思っています。

ただ、積み残しとして、半年間振り返ったときに、特別委員会の協議会、政策研究会的なものはできないのかというものがあって、私が今預かっている状況になります。これらも、加えるのはぼっと出のものではないので、優先テーマとしてあり得るものかなと考えているところです。

これを併せて、今回も最後に、会派に持ち帰ってという意見がありましたが、今後5月に入りましたらこういったことを話していきますので、あらかじめ会派でしっかり協議をしていただいて、次のテーマを選出していきたいと思っています。

このたびは3点になりましたが、第2弾の優先テーマについては1本になるかもしれませんが、5つになるかもしれません。それは分かりません。ただ、皆さんが何を優先すべきか、大竹市議会にとって何が必要かというところを十分考えていただきながら、次のテーマを選出していきたいと思っています。

何か問合せはありますか。よろしいですね。

では、また活動計画も、進んだものに変えていきますので、またお示ししながら次に進めていけたらと思います。

次回の会議、計画したいと思いますが、5月はゴールデンウィーク明けになるのじゃないかと思うんですけれども、ちょっと御予定の確認をお願いします。

5月7日、8日、9日、10日あたりに1回入れてもいいんですけれども、どうですか。

小田上委員。

○小田上委員 9日、10日に、細川委員と私は公務予定が入ってます。

○寺岡委員長 ではちょっと開けて、次の週の15日はいかがですか。

どうぞ。

○細川委員 午前中にしていれば。

○寺岡委員長 午前中にしましょうか。

特に御意見ないようでございますので、次回の会議は5月15日水曜日の10時から開催とさせていただきます。御予定空けておいてください。また、議長公務等ありましたら御欠席いただいても構いませんので。

では、今日の予定しておいた日程は、全部終了しています。それぞれ、これから対外的な動きを、委員長としてさせていただきます。また皆さんには、議会マメ知識の原稿の一部をまた紹介させていただくというお役目もいただいておりますので、それぞれまた準備整い次第連絡させていただきます。引き続きお願いしたいと思います。

(6 . 4 . 25)

以上で、本日の会議は閉会します。どうもありがとうございました。

12時21分 閉会